

- 2月のISM製造業景気指数は54.2と、市場予想を下回り、2016年11月以来の低水準に下落。生産や新規受注などが下落しており、世界経済の先行き不透明感が重しとなった内容といえる。
- 米国のS&P500種指数は昨年11月8日以降初の2,800ポイントを超えて引ける展開。当面の米国株式市場は米中通商協議に左右される展開を見込む。

### 製造業景気指数は市場予想を下回る結果

1日に発表された2月のISM（米供給管理協会）製造業景気指数は54.2と、市場予想の55.8（ブルームバーグ集計）を下回り、2016年11月以来の低水準となりました。同指数は生産や新規受注、雇用など幾つかの項目について製造業の購買担当者に対しアンケートを行い、その回答結果を集計したもので、50を上回ると景気が良い、50を下回ると景気が悪いとされています。内訳をみると、景気指数を構成する5つの指数のうち、生産や新規受注など4指数が下落しており、今回の結果は総じて製造業の先行き不透明感を示す内容といえます。背景として、米中通商協議に対する懸念の継続や、欧州など主要国経済の成長鈍化予測が重しとなったとみられます。

### S&P500種指数は今年初の2,800ポイント超え

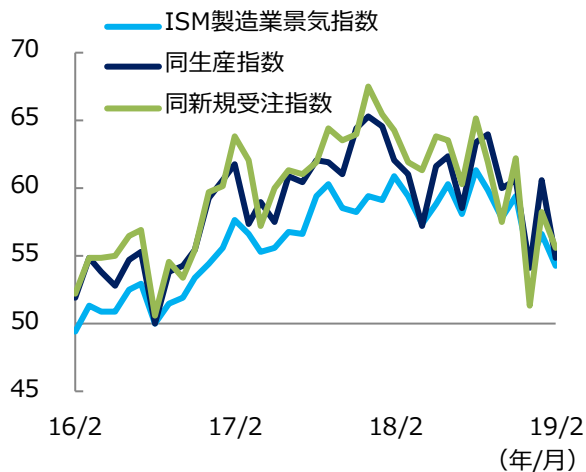
一方、同指数の低調な結果とは裏腹に、同日の米国株式市場は上昇する展開となりました。背景として、2月28日にUSTR（米通商代表部）が、3月1日に設定されていた米中両国による通商協議の期限を延長すると正式に発表したことや、同日に発表された中国の製造業PMIが市場予想を上回ったことを受け、米中通商問題に対する過度な懸念の後退や、合意への期待が広がったことなどが挙げられます。

これらのことを受け、S&P500種指数は昨年11月8日以降、初めて節目とされる2,800ポイントを上回って引けました。また、ハイテク株比率の高いナスダック総合指数は10週連続で上昇し、1999年終盤以降で最長を記録するなど、米国株式市場は総じて堅調に推移しています。当面の米国株式市場は、米中通商協議の行方に左右される展開が続くとみられるものの、今後合意に至ることができれば、米製造業に対してプラスに働くことから、米国株式市場の更なる上昇が期待されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

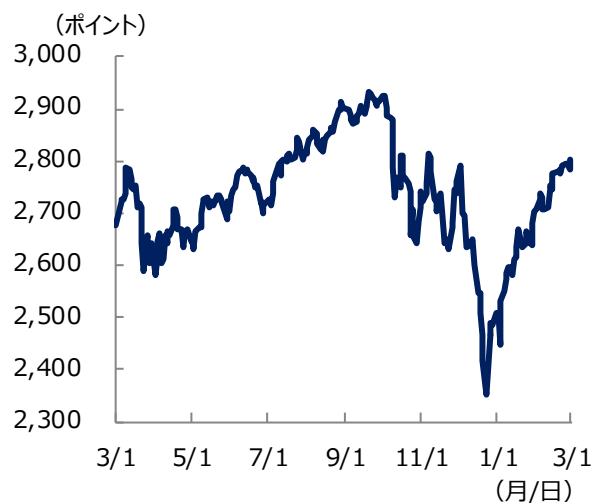
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

### ISM製造業景気指数の推移



※期間：2016年2月～2019年2月（月次）

### S&P500種指数の推移



※期間：2018年3月1日～2019年3月1日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

#### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 【指数の著作権等】

- S&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。